

共用試験

第4学年の95人が
CBTならびにOSCEを受験

臨床実習前の第4学年95人は、平成23年度共用試験として、3月1日にCBT（知識・思考力・問題解決能力を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験）ならびに3月6日にOSCE（技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験）を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価することによって、患者さんにとって安全であり、また学生にとっても学びの多い臨床実習を行うために全国すべての歯学部で実施されるものです。

登院式

医療短期大学歯科衛生学科の
新3年生69人が戴帽を受ける

4月12日、福岡歯科大学本館講堂にて平成23年度福岡医療短期大学歯科衛生学科登院式が執り行われました。同学科新3年生69名は、来賓、法人役員、教員、在学生、父兄等が見守る中、名前が呼ばれると緊張した面持ちで一人ひとり壇上へ上がり、栢短大学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まりました。



歯科医師臨床研修

臨床研修歯科医師として
63人が研修を開始

4月1日、平成23年度歯科医師臨床研修開始式が執り行われ、63人が辞令を受け臨床研修歯科医師として研修を開始しました。研修は、単独型・複合型プログラムとありますが、医科歯科総合病院のみ、あるいは医科歯科総合病院とその他の協力型臨床研修施設に登録されている歯科医院等において来年3月まで行われます。



学友会

平成23年度の学友会
総務委員長、決まる

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が1月21日に行われ、竹島朋宏さんが総投票数468票中415票(88.7%)の信任票を獲得し、4月1日付けで平成23年度学友会総務委員長に就任することが決定しました。



短期大学父兄後援会

福岡医療短期大学父兄後援会長に
山本紫摩子氏を選任

4月6日、福岡医療短期大学入学式に引き続いて開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、山本紫摩子氏が父兄後援会長に選任されました。同氏は「微力ながら皆様のお役に立てれば幸いです」と抱負を語られました。



大学父兄後援会

福岡歯科大学父兄後援会長に
白水智明氏が就任

3月12日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第18代会長として白水智明氏が選任されました。



【略歴】昭和57年九州歯科大学卒業（第30期）
【役職】福岡歯科大学同窓会 副会長
【抱負】大学と父兄後援会との連携を密にし、大学の教育運営に協力し、皆様の御子弟が有意義な学生生活を過ごし、優秀な歯科医師となられるよう努力いたしますので、皆様のご理解とご協力の程、宜しく願いたします。

学友会

新入生対象にクラブ紹介イベント開催

4月1日の入学式後、体育館にて新入生を対象とした学友会クラブ紹介が行われました。毎年、各クラブ員が部員勧誘のためにそれぞれに工夫を凝らし、クラブの活動状況などを発表しています。新入生らは、先輩クラブ員の熱心でユーモアあるクラブ紹介に期待を膨らませているようでした。今年も、多くの新入生がクラブに加入し活動していくことを願います。



コラム「定心」

期待と結末

東日本大震災が発生し、多くの尊い人命が失われ、街が一瞬のうちに消えてしまった現実にも声も無くなってしまいます。犠牲者のご冥福をお祈りします。それからひと月、被災地に元気がすこしずつ戻ってきたことは、私達をも勇気づけ、強い意志と努力があ

ればどんな困難にも打ち克てることを教えてくれました。一方で、次から次に起こっている福島原発の機能不全については、組織だった対応が出来ていないこともあって、非難の声も聞こえています。原発の制御に取り組んでいる人たちも危険を省みず不眠の努力をしているのですが、この受け止め方の違いはなんなのでしょうか。前者は全てが期待の実現に向かい、後者は事態の好転につ

ながっていないことによるのかもかもしれません。快・不快は利己的な感情ですが、期待が大きいほど快・不快も大きくなるので、社会をも飲み込む力を持っています。被災者が何を期待しているのかに思いを馳せながら、同時に、大学は何を期待しているのか、学生やご父兄が何を期待しているのか、私は何を期待しているのかと、日常を改めて考える毎日です。